

令和7年7月25日

長与町議会議長 安藤 克彦

### 研修報告書

長与町議会議員研修要綱第7条第2項の規定により、次のとおり公表します。

1. 研修名（主催者） 令和7年度町村議会議長・副議長研修会（全国町村議会議長会）

○講演「広域災害対応を含めた自治体の災害対応力強化に不可欠な「防災 DX」」

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（防災デジタル・物資支援） 松本 真太郎 氏

○講演「平成からの災害に学ぶ復旧・復興まちづくりの課題 --自治体実務の立場から--」

明治大学名誉教授 青山 やすし※ 氏

※やすしは、にんべんにハの下に月

○講演「災害と議会・議員の役割」

同志社大学名誉教授 新川 達郎 氏

2. 研修日時 令和7年5月27日（火）

3. 研修場所 東京国際フォーラム ホールA

4. 研修目的 議員の資質向上及び議会の活性化に資するため

5. 所見 （記載は議席番号順）

#### 【副議長 西岡 克之 議員】

今回の研修は、前回までのハラスメント関係、女性活躍世界などは影をひそめ、災害と議会の関係の講義だった。

最初に内閣府政策統括官の松本真太郎氏が、広域災害対応を含めた自治体の災害対応強化に不可欠な「防災 DX」と題して官民の連携を中心に講義を頂いた。

次に「平成からの災害に学ぶ復旧・復興まちづくりの課題」、サブタイトルで「自治体実務の立場から」と題して明治大学 名誉教授 青山やすし氏に講演をしていただいた。氏は元東京都職員で元東京都副知事であった。その時の経験を生かして主に東京首都圏での災害対応について講義をして頂いた。非常に興味深い内容だった。

最後に「災害と議会・議員の役割」と題して同志社大学名誉教授 新川達郎氏が講義をして頂いた。氏は議員も災害に遭えば被災者だと言われ、その上で議会としてどのように災害に取り組むのかを講義して頂いた。幸い長与町議会には災害対応マニュアルがコロナ禍の時に作成しており、対応がしやすいと感じた。

総じて今後災害は、忘れた時に来ると頭に置いて準備していかなければと感じた。

【議長 安藤 克彦 議員】

今回の研修に参加して深く考えさせられたのが、災害時や危機管理に直面した時には議会が蚊帳の外あるいは後追いであってはならないということだ。執行部の邪魔になるのではないかと遠慮しがちな考え方もあるが、これは議会の存在意義を問われる事にもなりかねない。

そのためにも災害時等における議会業務（事業）計画（BCP）の組織体制を整備する必要がある。またBCPが機能するためには議会の防災計画や防災訓練、時期別の活動内容に応じた環境整備も大切であると感じた。講師の新川氏の資料は項目ごとに確認するのに役立つと感じた。

内閣府からの「防災DX」について本町でも県のシステムと連携して取り組んでいるようだが、違いや利点、特徴等を改めて確認しておく必要があると感じた。

昨年から全国議長会では主権者教育に力を入れている。有権者の政治離れ、さらには議員のなり手不足に本気で取り組み始めたとも感じた。